

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 武雄市社会福祉協議会

1. 事業の概要

「お互いさまと言えるあたたかいまちづくり」を基本理念に、関係機関、関係団体、ボランティア、市民のみなさまのご協力を得て福祉事業の企画、実践に取り組んだ。

老人福祉センターの運営は、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、高齢者の方の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。

また、関係機関と連携をとり、生活にお困りの方やコロナの影響を受けて収入が減少された方などの相談や支援を行った。

2. 社会福祉協議会会務の運営

【1】役員会（理事会・監事会）の開催

(1) 理事会

①第1回理事会：令和2年6月8日（月）10：00～

議事

- ・令和元年度事業報告
 - ・令和元年度決算
 - ・令和2年度補正予算（第2回）
 - ・評議員選任候補者の推薦
 - ・令和2年度定時評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和元年度補正予算 第5回）
 - ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第1回）
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

②第2回理事会：令和2年6月23日（火）13：30～

議事

- ・常務理事の選任
- ・社会福祉法人武雄市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任
- ・社会福祉法人武雄市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則

③第3回理事会：令和3年3月18日（木）10：00～

議事

- ・社会福祉法人武雄市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則
 - ・令和3年度事業計画
 - ・令和3年度当初予算
 - ・令和2年度第2回評議員会の開催
- 報告事項
- ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第3回）
 - ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第4回）
 - ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第5回）
 - ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第6回）
 - ・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第7回）
 - ・会長専決事項の報告（育児休業・介護休暇等に関する規程の一部改正）
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況の報告

(2) 監事会

- ①第1回監事会：令和2年5月21日（木）10：00～16：00
監査事項
・令和元年度武雄市社会福祉協議会会計の諸表
- ②第2回監事会：令和2年10月27日（火）10：00～16：00
監査事項
・令和2年度武雄市社会福祉協議会上半期会計の諸表

【2】評議員会の開催

- (1) 定時評議員会：令和2年6月23日（火）10：00～
議事
・令和元年度事業報告及び決算
・令和2年度補正予算（第2回）
・理事の選任
報告事項
・会長専決事項の報告（令和元年度補正予算 第5回）
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第1回）

- (2) 第2回評議員会：令和3年3月26日（金）10：00～
議事
・令和3年度事業計画及び当初予算
報告事項
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第3回）
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第4回）
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第5回）
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第6回）
・会長専決事項の報告（令和2年度補正予算 第7回）

【3】評議員選任・解任委員会の開催

- 評議員選任・解任委員会：令和2年6月9日（火）10：00～
議事
・評議員の選任

【4】社協会員の加入促進

市内全戸会員制度の意識高揚と財源確保を目的として、7月の募集月間に区長会並びに民生委員児童委員協議会のご協力を頂き加入促進に取り組んだ。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員数	納入額（円）
一般会費（1口 400円）	14,283	5,713,200
賛助会費（1口 1,000円）	970	1,099,000
団体会費（1口 3,000円）	0	0
法人会費（1口 5,000円）	6	40,000
計	15,259	6,852,200

【5】社協広報誌の発行

「武雄市社協だより かがやき」を計6回（奇数月）作成し、社協活動・地域福祉活動の啓発を目的に市内全戸に配布した。

3. 老人福祉センター事業

【1】老人福祉センター運営事業「日輪荘」（市補助事業）

送迎バス「日輪号」を週4回（火・水・木・金）定期運行し利用者の便を図った。また、健康相談、民謡教室、謡曲教室、吟詠教室、囲碁例会などを開設し、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は217日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
219	214	608	699	582	652	808
11月	12月	1月	2月	3月	計	
752	733	560	527	850	7,204人	

※コロナ対策で休館：4/2～4/3、4/18～5/13、12/28・1/4

※コロナ対策で隔週利用制限：5/14～6/10

※大雨のため休館：6/25、7/7、7/10 ※台風10号のため休館：9/7

※大雪積雪のため休館：1/8、2/18

【2】老人福祉センター運営事業「長寿園」（市補助事業）

送迎バスを北方町内で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は217日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
126	124	296	347	239	362	548
11月	12月	1月	2月	3月	計	
458	415	226	337	477	3,955人	

※コロナ対策で休館：4/2～4/3、4/18～5/13、12/28・1/4

※大雨のため休館：6/25、7/7、7/10 ※台風10号のため休館：9/7

※大雪積雪のため休館：1/8、2/18

【3】老人福祉センター運営事業「さざんか荘」（市受託事業）

送迎バスを山内町で定期運行し利用者の便を図った。また、高齢者の趣味と交流の場として福祉の向上に努めた。開館日数は217日で、利用状況は次のとおりである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
136	131	251	253	213	243	272
11月	12月	1月	2月	3月	計	
228	220	185	209	261	2,602人	

※コロナ対策で休館：4/2～4/3、4/18～5/13、12/28・1/4

※大雨のため休館：6/25、7/7、7/10 ※台風10号のため休館：9/7

※大雪積雪のため休館：1/8、2/18

4. 生きがい対応型デイサービス事業（市受託事業）

介護保険の認定を受けていない高齢者で支援を必要とする方を対象として、「生きがい対応型デイサービス事業」に取り組んだ。利用者数は次のとおりである。

【1】湯遊くらぶ (武雄)

(単位：人)

	武雄	橘	朝日	若木	武内	東川登	西川登	計
R2年4月	65	11	29	19	41	17	7	189
5月	30	11	13	7	24	10	6	101
6月	48	12	37	12	35	25	11	180
7月	46	4	23	26	30	21	7	157
8月	36	9	25	10	30	20	12	142
9月	55	12	24	22	31	9	9	162
10月	33	17	25	26	43	28	10	182
11月	75	16	40	29	74	42	22	298
12月	76	13	51	31	75	33	14	293
R3年1月	69	10	50	24	71	22	8	254
2月	72	13	40	30	45	47	16	261
3月	85	14	57	38	70	71	15	350
計	690	142	412	274	569	345	137	2,569

※コロナ対策で休館：4/2～4/3、4/18～5/13、12/28・1/4

※コロナ対策で隔週利用制限：5/14～10/30

※大雨のため休館：6/25、7/7、7/10 ※台風10号のため休館：9/7

※大雪積雪のため休館：1/8、2/18

【2】ふれあい (山内)

R2年4月	51
5月	59
6月	101
7月	90
8月	71
9月	83
10月	88
11月	81
12月	83
R3年1月	67
2月	70
3月	81
計	925

【3】やわらぎ (北方)

R2年4月	59
5月	53
6月	113
7月	99
8月	88
9月	91
10月	110
11月	95
12月	94
R3年1月	77
2月	79
3月	114
計	1,072

※コロナ対策で休館：4/2～4/3、4/18～5/13、12/28・1/4

※大雨のため休館：6/25、7/7、7/10 ※台風10号のため休館：9/7

※大雪積雪のため休館：1/8、2/18

5. 生活支援事業

【1】弁護士相談

佐賀県弁護士会の協力を得て、無料相談を計24回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本所 毎月第2木曜日 13:00～16:00 (年12回)
 山内支所 毎月第4木曜日 13:00～16:00 (年12回)

【2】遺言・相続相談

遺言及び相続に関する相談を佐賀県行政書士会の協力を得て、無料相談を計12回開催した。開催日及び会場は次のとおり。

本所 偶数月第3木曜日 13:00～17:00 (年6回)
 山内支所 奇数月第3木曜日 13:00～17:00 (年6回)

また、社協事務局でも各種相談を受け付けており、弁護士相談、遺言・相続相談での一年間の相談受付件数は次のとおりである。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
相談事項	生年計	職業・生業金	住職・生業宅	家族	結婚	離婚	健康・医療	人権・法律	財産・相続	借金問題	金銭トラブル	事件・事故	老人福祉	児童福祉	障がい者福祉	ひとり親	苦情	その他	計	
件数	57	0	4	12	5	0	11	1	2	36	7	3	5	0	15	0	0	2	22	182

【3】福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、金銭管理、福祉サービス利用の手続きなどの支援を行った。令和2年度末の利用者数は32件（内新規10件、解約8件）、相談支援件数延べ1,802件の実績であった。

【4】エンディングサポート事業（県社協補助事業）

死後事務委任、終活支援の取り組みに関する調査のため福岡県内の社会福祉協議会に視察研修をおこなった。

日時 令和2年11月27日(金)
 場所 福岡県岡垣町社会福祉協議会
 参加者 佐賀県社会福祉協議会1名、武雄市社会福祉協議会局長、支援係2名、生活自立支援センター2名、総務係1名 計7名
 研修内容： 終活支援事業について

【5】避難行動要支援者調査事業(市受託事業)

災害時の要援護者への迅速な支援に備えるため、各要援護者宅へ出向き、訪問調査やニーズの収集をおこなった。令和2年度からの新規事業で、武雄市7町、総合計1,081件(内訳：橋町109件、朝日町228件、若木町74件、武内町112件、東川登町72件、西川登町85件、北方町401件)を訪問した。

【6】つなぎ生活費貸付事業

低所得者世帯に属し、生活上一時的に緊急な少額をつなぎ生活費を必要とする方を対象に、関係機関と連携を取りながら資金貸付を行った。令和2年度の貸付相談件数は84件、貸付件数は44件であった。

【7】県社協生活福祉資金貸付事務事業

県社協の委託により、低所得世帯や身体障がい者世帯の自立更正を図ることを目的に資金貸付事務を行った。また、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付の実施により、相談窓口を開設し、申請の受付をおこなった。令和2年度の相談件数は660件、貸付件数は344件 総額94,490,000円（内訳：緊急小口資金232件 35,790,000円、総合支援資金70件、38,100,000円）

円、総合支援資金(延長) 31件、14,850,000円、総合支援資金(再貸付)11件 5,750,000円であった。

- 【8】生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業）
武雄市の委託事業で、生活困窮者を対象に自立した生活に向け、関係機関と連携し相談業務を行った。令和2年度は、相談者数141名、支援申込件数79件、プラン作成件数26件（自立19件、家計6件、就労準備1件）であった。

【9】緊急生活支援

現物支給等による生活維持・緊急生活支援（移動支援）を1名に行った。

いのちをつなぐ糧事業では個人及び団体から51回、玄米、弁当、乾麺、缶詰、インスタント食品、レトルト食品等のご寄附を頂き、非常食と合わせ延べ165回食料を支援した。

6. 地域福祉活動事業

【1】地域福祉活動計画の推進

令和2年度から令和6年度版の年次計画に基づき実施目標を立てて事業に取り組み、評価と課題について協議を行い計画の推進に努めた。

【2】地区社協活動の支援

(1) 地区社協活動費の交付

地域住民の要望を踏まえ社協活動を強化し、それぞれの地域に応じた活動を行い、住民の福祉の増進を図るため、総額4,582,000円の地区社協育成費を交付し育成に努めた。

(2) 小地域ネットワーク活動推進事業（市受託事業）

地域に住む援助の必要な方々を中心に、周囲の人々が助け合い支え合って生活できる支援体制づくりを実施。地区社協を核とし、民生委員の協力を得て市より委託を受け、令和元年災害被害が大きかった橘町・朝日町・北方町の3町でモデル的にはじめ、見守り体制の強化に努めた。登録対象者 3町計87名。

(3) ふれあいいきいきサロン推進事業

高齢者の方々を対象に、地域の人々が助け合い生きがいをもって生活できるよう、地区社協を核とし、ボランティアの協力を得ながらサロンの設置に努めた。令和2年度は特に若木町の新規サロン設置推進を行い、2サロンが新規に立ち上がった。また、各地区社協が主催するサロンの集いにサロンの運営に関する情報を提供した。3月末現在のサロン設置件数は134件（内新規5件、解散5件）。

(4) 家屋内ごみ片付け支援事業

自力による家屋内のごみ処理が困難で、地域から孤立し、希薄になった地域住民との繋がりを取り戻すことを目的として片付け支援を行った。相談2件中支援1件（地区社協7名、市健康課4名、社協4名）で、支援を行った地区社協へ支援交付金59,044円を助成した。

【3】各種福祉団体等運営費助成事業

市内で活動する9つの福祉団体の育成を図るために、総額2,581,650円の助成金を交付した。

【4】地域福祉活動事業の実施

(1) 認知症地域支援・ケア向上事業（市受託事業）

市受託事業で、住民や認知症サポーター、医師や介護の専門職など、さまざまな人・団体と連携、協力しながら認知症になっても安心して暮らせるように地域で支える体制づくりに取り組んだ。

① 地域において認知症の方を支援する関係者の連携を図る取り組み

ア) 介護事業所、病院、警察署、民生委員児童委員協議会、区長会、老人会など事業説明や協力依頼に 25件訪問し説明を行った。

イ) キャラバン・メイト情報交換会を3回開催した。新たなメイトの方を迎え、どうしたら地域の方に認知症サポーター養成講座を受講してもらえるのかなど活発な意見が出た。

② 地域における認知症の人とその家族を支援する相談支援や支援体制を構築するための取り組み

ア) 在宅介護支援センター会議、地域ケア個別会議、第2層コーディネーター会議等に出席し、情報交換を行った。各会議出席件数 3件（認知症初期集中支援チーム会議、在宅介護支援センター会議地域ケア個別会議、介護支援専門員会議）

イ) 地域から寄せられる認知症相談を市に繋げ、連携を図りながら、個別訪問を行った。認知症に関する相談件数 32件 認知症に関する訪問件数 6件

ウ) 認知症サポーター養成講座を実施した。認知症サポーター数を増やし、認知症の理解や見守りの支援をお願いした（開催件数—登録者数）

総数 5件— 165名（中学校 2校— 80名・それ以外 3件— 85名）

エ) 認知症カフェを開催した。名称を「オレンジカフェたけお」に変更

認知症に対する知識と理解を深めながら、誰もが気軽に参加できる「集いの場」として開催。武雄市内にある喫茶店に協力頂き、喫茶店内で行った。（日頃のストレス解消や悩みなどから解放され、喫茶店内のBGM・コーヒーの香りや味・カップの装飾の見た目や感触など5感で感じてもらう為）

今年度、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、6回実施予定をプレオープンとして2回開催（1回目 参加者— 9名・2回目 参加者— 10名）

③ その他、認知症予防啓発活動の取り組み

ア) 市の出前講座に市民の方が気軽に認知症を学んでいただけるよう3つの講座を設けた

・認知症予防講座 17回

・認知症サポーター養成講座～入門編～ 5回

・認知症サポーター養成講座～実践編～ 2回

イ) 認知症予防啓発DVD無料貸し出しを行い、介護事業所や協議体の勉強会での利用を紹介した。

・いつでも連絡してね 1件

・無事に帰ってこれるまちづくり 3件

ウ) オリジナルDVDの作成

コロナ禍で各イベントや事業が中止される中、外出を控え家に閉じこもり気味になる事が認知症の進行や生活不活発による高齢者のフレイルが危惧される事を受け、自宅で脳トレやお口の体操が出来るようにオリジナルDVDを作成した。DVDは、無料配布・コピーも含め 157枚配布することができた。

エ) 認知症フェスティバル

認知症予防啓発イベントとして、認知症フェスティバルを実施した。

コロナ禍の中、人との交流が減少することで危惧される認知症の発症や生活不活発によるフレイル（虚弱）を予防・改善することを目的に実施。

日 時 令和3年1月16日（土）9：30～12：00 武雄温泉ハイツ
内 容 第一部：楽笑レク式体力チェック（自身の体力を知り、生活習慣を改善）
第二部：お散歩スタンプラリー（保養村周辺をクイズに挑戦しながらウォーキング）
参加者 43名

(2) 地域福祉を考える会

令和元年度武雄市で大規模な水害が発生し、その「体験」を共有し自然災害の怖さや早期避難の重要性などの防災意識の向上と災害弱者の支援・活動について考えた。武雄市民生委員児童委員連絡協議会より依頼され民生委員秋季研修内で実施した。

期 日 令和2年10月28日（水） 10：00～12：00
会 場 武雄市文化会館 小ホール
内 容 「災害から学ぶ～民生委員の体験報告」
対象者 民生委員・児童委員
参加者 140名

(3) 共生型ふれあい交流事業

様々な人と交流を深め、障がい者への理解促進を図り、障がいを持つ方やその保護者に、人と接する喜びを感じてもらうことを目的とし、「音楽を楽しむ」という内容で9月開催で企画したが、コロナ禍のため開催を中止した。

(4) 新入学児童「黄色い帽子」贈呈事業

市内小学校の新入学児童の交通安全と地域住民の見守りによる防犯を目的に、地域の方々のお祝いメッセージカードを添えて総数427個の黄色い帽子を贈呈した。

(5) 移動サービス・移送車貸出事業

公共の交通機関を利用した外出が困難な高齢者や障がい者を対象に、福祉車両（車イス搬送仕様自動車）を利用した移動サービスおよび福祉車両の貸し出しを行った。移動サービスの際の運転は、運転ボランティアが行い、令和2年度の登録者数は12名で、利用件数は移動サービスが110件、移送車貸出が2件であった。

(6) 「お互いさま活動」支援事業

地域の方々を交えて行う福祉のまちづくりを目的とした団体・グループの事業に対し助成を行う事業で、上限を10万円とし、申請のあった新規2団体に対し総額200,000円の助成金を交付した。

(7) 福祉教育の推進と体験学習指導

市内小・中・高校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めると共に、総合学習の一環として依頼があった市内小中学校へ出向き、「高齢者疑似体験」「アイマスク体験」「車イス体験」等について指導を3件行った。

(8) 市内最高齢者記念品贈呈

敬老の日にあわせて長寿を祝い、市内の男女それぞれの最高齢者に記念品を贈呈した。

【5】ボランティア事業

(1) ボランティア活動支援事業

① ボランティア活動実践校活動費助成金交付事業

市内の小・中・高等学校、15校に対しボランティア協力校として、活動費総額680,000円を助成し育成に努めた。

(小 学 校) 武雄小、御船が丘小、朝日小、若木小、武内小、東川登小、

西川登小、橘小、山内東小、山内西小、北方小
(中学校) 武雄北中、川登中、山内中、北方中

- ② ボランティアグループ活動費助成事業
市内のボランティアグループで、事業費の申請があった15グループ(18事業)(前年度比3グループ減・4事業減)に対して総額716,000円の助成金を交付した。
 - ③ 障がい児者交流活動事業助成事業
ボランティア武雄「みふね55会」、手作り遊具の会「あかとんぼ」が実施する障がい児者との交流会・在宅訪問活動・遊具による交流活動に対し68,000円の助成金を交付した。
武雄市ボランティア連絡協議会は、武雄市身体障害者福祉協会との交流を予定していたが、コロナ禍で開催できず未申請となる。
 - ④ ひとり暮らし会食・配食助成事業
ひとり暮らし高齢者とのふれあいを目的とした会食会や配食サービスを実施する市内ボランティアグループ等9団体に対し、事業費の助成金、総額815,000円を交付した。
- (2) ボランティアセンター事業
- ボランティア活動の活性化を図る為に、ボランティアの育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座等を開催し、市民のボランティア意識高揚とボランティア活動の推進をおこなった。
- ① ボランティアコーディネート(相談・登録・情報提供)の強化
市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。
 - ② ボランティア活動保険の受付
地域行事やボランティア活動などを支援するため、ボランティア保険の加入受付を行った。ボランティア活動保険 加入数651名
 - ③ 各種ボランティア講座の開催
地域福祉確立にかかわるボランティアの拡充と資質向上、ボランティアの育成を図ることを目的に、一般住民等を対象とした各種講座を企画したがコロナ禍のため開催できなかった。
ア) 手話講習会
今年度は、武雄公民館主催で手話講座を実施されたため、講師等の調整つかず令和3年度実施する計画
イ) 傾聴ボランティア養成講座
講座内容がグループワーク中心だがコロナ禍の影響があり実施できなかった。
 - ④ 市ボランティア連絡協議会への支援・協力
市ボランティア連絡協議会が開催する会議への参加と、各種事業への支援・協力をおこなった。
・広報誌の発行支援
 - ⑤ ボランティア活動の広域的な展開
杵島・武雄地区ボランティア連絡協議会との連携を強め、合同研修などの活動を実施予定だったがコロナ禍のため開催されなかった。
 - ⑥ 24時間テレビチャリティへの協力
毎年8月に実施される「24時間テレビ 愛は地球を救う」の放送日に合わせて、チャリティ募金活動を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、街頭募金は中止の指

示あり、募金箱のみ設置した。集まった募金 4,433 円は 24 時間テレビチャリティ実行委員会へ送金した。

24 時間福祉車両寄贈申込みの受付、書類確認等の事務作業を行い、県社協へ送付した。

【6】安心安全なまちづくり支援事業

住民が地域で安心・安全に生活するための課題解決に向けた取り組みを支援する事業で、2 地区へ助成金を交付した。

- ・繁昌区（朝日町） 繁昌公民館玄関入口スロープ設置事業 200,000 円
- ・西杵区（北方町） 西杵区公園遊具補修 200,000 円

【7】武雄市社会福祉協議会会長表彰式の開催

社会福祉の増進に積極的な活動を続け、その功績が顕著な方 18 名及び 1 団体を表彰した。

期 日 令和 3 年 1 月 23 日（土） 10：00～

場 所 武雄市社会福祉協議会 2F 会議室

例年、武雄市社会福祉大会で表彰を行っていたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染防止のため大会を中止し、表彰式のみ行った。

【8】福祉機器等貸出事業

社協で所有する車イスの無料貸出しを行った。貸出し件数は 32 件であった。

【9】災害見舞い

令和 2 年度中に市内で被災した世帯は、火災 3 件（全焼 2 件、部分焼 1 件死者 1 名）であった。罹災世帯に対し、市社協、県共同募金会、日赤県支部より見舞金品を届けた。

【10】災害ボランティアセンターに関すること

(1) 職員派遣

「令和 2 年 7 月豪雨」のため熊本県八代市災害ボランティアセンターへ運営支援 1 名を派遣した。（8 月 31 日～9 月 5 日）

(2) 災害時のボランティアセンター運営に備えるため、県社協主催の研修会等に参加した。

- ・災害ボランティアセンター検証委員会（11/27、12/24、1/26、2/25）
- ・災害ボランティアセンター費用等に係る情報共有会（1/29）
- ・市町社協災害ボランティアセンター研修会『基礎編』（12/10）
- ・市町社協災害ボランティアセンター設置・運営研修会『実践編』（3/18）
- ・コロナ禍における災害ボランティアセンター運営研修（3/26）

7. 共同募金運動

【1】赤い羽根共同募金

10 月 1 日から赤い羽根共同募金運動を実施し、区長会、民生委員児童委員協議会ほか、市民の皆様のご協力をいただき、多くの募金をお寄せいただいた。

募金種別	実績額（円）
一般戸別募金	7,111,170
法人募金	783,600
資材募金	644,100
学校募金	55,619
個人募金	11,908
その他	4
計	8,606,401

【2】歳末たすけあい運動

篤志募金、学校募金、街頭募金の総額145,094円に、社協繰出金をあわせ、市内の12施設に各20,000円、計240,000円を年末年始の行事に役立てていただいた。

《施設名》 (福祉施設) シルバーケア武雄、くろかみ学園、すみよしの里、
 (就労支援施設A型) ワークショップ道の家、
 (就労支援施設B型) つくしのさと北方作業所、若楠、いぶき村、ゆめランチ、菜菜、LAUGHらふ、みふねが丘
 (地域活動支援センター) オアシスみふね

また、コロナの影響を受け相談に来られた方で高校生以下のお子さんがいらっしゃる54世帯にお米とお菓子をお届けした。このお米は「いのちの糧事業」で市民の方からいただいたものである。

【3】義援金受付

- ・令和元年8月豪雨災害義援金 2,200円
- ・令和2年7月豪雨災害義援金 34,211円

8. 赤十字活動

【1】会員増強運動

区長会・婦人会のご協力を頂き、5月の赤十字運動月間に市内全戸に対し赤十字活動を支える会員としての呼びかけを行い、会員増強運動を実施した。多くの会費をお寄せいただいた。

	会員数	納入額 (円)
会費 (1口 600円)	14,246	8,547,600

【2】講習会等について

- (1) 救急法講習会
中止 (コロナ感染防止のため)
- (2) 水上安全法講習会
中止 (コロナ感染防止のため)
- (3) 災害救援講習会助成事業

災害救援の啓蒙や地域住民による災害時の知識や技術習得のための講習会に取り組む地区に対し、上限2万円の助成金で、令和2年度は、武雄市が地区防災訓練の開催を積極的に推進されたため、10地区に総額200,000円助成金を交付した。

【3】義援金受付

- ・平成29年7月5日からの大雨災害義援金 35円
- ・平成30年7月豪雨災害義援金 8,316円
- ・令和元年8月豪雨災害義援金 5,990円
- ・令和2年7月豪雨災害義援金 1,120,482円